

## 第43回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 令和8年1月8日(木) 1400～1500
- 場所 京丹後市丹後庁舎2階会議室
- 出席者 【京丹後市】副市長  
【京都府】総務部副部長  
丹後広域振興局地域連携・振興部長(丹後広域振興局長代理)  
【京都府警察本部】警備部理事官(警備第一課長代理)  
【京丹後警察署】警備課長(警察署長代理)  
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長兼ねて宇川連合区長会会長  
京丹後市交通安全指導員会会長  
京丹後市女性連絡協議会理事  
京丹後市女性連絡協議会理事  
京丹後市袖志区、尾和区、島津連合区各区長  
【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊長  
【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地第35警戒隊長  
【近畿中部防衛局】企画部長、企画部次長、京丹後現地連絡所長

### ○米軍経ヶ岬通信所司令官の挨拶

- ・ 交通安全について、私たちは日本の交通法規を真摯に受け止めている。先月、冬期運転講習会に参加し、経ヶ岬通信所職員にとって雪道の運転を経験できる大変貴重な機会となった。調整いただいた京丹後警察署及び近畿中部防衛局に感謝申し上げます。今後も定期運転講習会に参加していく。また、経ヶ岬通信所の兵士及び請負会社職員は毎週安全指導を受けており、その際、各責任者が交通安全の重要性について指導している。
- ・ 発電機について、私たちは引き続き、可能な限り発電機の使用をメンテナンス及び必要不可欠な場合に限定した稼働に努める。尚、緊急時の稼働は避けられない旨、引き続き皆様のご理解のほど宜しくお願い申しあげる。重ねて、必要不可欠な時に限った発電機の使用に最大限努める。
- ・ 地域交流については、英会話、海岸清掃や文化交流などに引き続き積極的に参加する。私自身11月のハロウィンイベントを大変楽しむことができ、また子供たち皆がこのイベントを楽しんでいる姿を見ることができる素晴らしい機会となった。今月は近畿中部防衛局が開催するビーチボールバレー大会へ参加し、また皆様にお会いできることを心待ちにしている。引き続き、地域並びに自治体の皆様方と協力し、イベントを随時企画並びに支援していく。

## ○防衛局の説明・構成員の意見等の概要

### (1) 交通事故の状況等及び交通安全に対する取組み

#### 【説明要旨】

- ・ 令和7年7月から令和7年11月までの5か月間で、米軍関係者が関わる交通事故件数は、2件である。
- ・ 道路工事に伴う交通規制については、京丹後市から情報を頂き、防衛局は速やかに米軍に情報共有している。
- ・ 野生動物の目撃情報については、米軍から多くの目撃情報の提供があり、防衛局は速やかに京丹後市に情報共有している。今期はシカが目撃情報が最多であった。また、京丹後市からもクマの目撃情報が多数寄せられ注意喚起があり、速やかに米軍へ情報提供している。
- ・ 近畿中部防衛局交通安全対策推進チームは、令和7年12月3日に交通安全講習会を開催し、米軍関係者の交通事故の未然防止のため、日本での交通に関する知識の習得を目的として、日本の交通ルール、マナーをはじめ、冬季特有の道路環境等に関する座学講義、並びに日本での運転技術の向上に資することを目的として、教習所内各種コースを利用した走行練習をはじめ、人工降雪機を用いて再現した積雪路の走行練習などの実車講習を実施した。
- ・ 米側からは、「参加者の中には積雪路を運転したことがない人が多かったので、特に積雪路の走行練習を取り入れていただけたのは、非常に有益でありがたい。」等、好意的な感想をいただいた。
- ・ 近畿中部防衛局交通安全対策チームとして、今後とも、関係機関と連携し、交通事故の未然防止につながるよう、効果的な講習会の開催に努め、交通安全対策に取り組む。

(近畿中部防衛局)

#### 【意見要旨】

- ・ 今回、2件の事故報告があった。また、冬期の降雪期を迎え、雪道を想定した交通安全講習会が実施されたと聞いている。引き続き、京丹後警察署をはじめ、関係機関のご協力を得ながら交通安全対策の徹底をお願いするとともに、野生動物の目撃情報についても、情報共有が図られるようお願いする。

(京丹後市)

- ・ 降雪が心配される季節を迎えているので、引き続き、効果的な未然防止策の実施、継続的な交通安全教育の徹底をお願いする。

(京都府)

#### 【回答要旨】

- ・ 米軍とは、これまであらゆる機会を活用して、様々な交通安全教育上の連携を行っている。
- ・ 当局は交通安全教育については、継続的な取り組みが重要だと考えており、今後も、京丹後警察署等のご協力のご指導を頂きながら、米軍と連携し、毎年度、交通安全講習会において効果的な講習を実現していく。

(近畿中部防衛局)

## (2) 水質調査

### 【説明要旨】

- ・ 米軍経ヶ岬通信所においては、第Ⅱ期工事で浄化槽の設置及び排出先の整備工事が完了し、現在、浄化槽法の規定と同様の保守・点検を実施しており、法令上、結果の開示義務はありませんが、皆様の安全・安心の観点から、好意的に情報を提供していただいている。
- ・ その上で、当局が実施している水質調査は、米軍施設の浄化槽において処理された水が、直下の海域に排出されることから、皆様の安全・安心に寄与するよう、周辺海域の海水の水質に変化が生じていないかを確認するために、専門機関に調査を委託し、浄化槽の運用開始前後の比較が可能となる形で実施しており、昨年12月、浄化槽の運用開始後6回目の水質調査として採水を実施した。今後、水質の分析を行い、調査結果については共有させていただく予定である。

(近畿中部防衛局)

### 【意見要旨】

- ・ 前回の連絡会において近畿中部防衛局から、水質調査については天候の安定する時期に調査を実施する予定であり、調査方法についても検討しているとの説明があったが、調査方法や実施の状況、また、その結果について説明いただきたい。

(京丹後市)

### 【回答要旨】

- ・ 今年度の水質調査では12月2日に専門機関が周辺海域の海水を採取し、現在、分析作業が進められている。
- ・ 調査の手法について、海水採取は、プランクトンや水温などの外部要因が数値に影響を与えることを局限するため、海面水温が20度以下となる11月末以降で、波が穏やか、かつ雨天ではない日が望ましいとの専門機関の意見を踏まえた上で、前回との比較の観点からも、令和6年度の海水採取と同時期に、同様の手法で実施することとした。
- ・ 当局としては、分析が完了した後、本連絡会等で結果を公表させていただく。
- ・ 米軍の浄化槽については、隣接する空自基地と同様の仕様で、日本の環境基準に適合することを前提として制作された日本製であり、処理水を直下の海域に排出することについても同様と承知しており、当局が行っている海水の水質調査及び米軍の保守点検結果に照らせば、米軍の浄化槽の運用に伴う水質悪化の傾向は見られていない。いずれにしても、皆様の安全・安心に資するよう、今後の対応についても検討していく。

(近畿中部防衛局)

### (3) 小銃を携行しての国道移動

#### 【説明要旨】

- 令和7年9月16日から9月24日の間実施された「米豪軍との実動訓練（オリエン・ト・シールド25）」において、米軍人4～5名が、基地前面の国道178号を小銃（実弾なし）を所持したまま移動した事案が発生し、米軍経ヶ岬通信所の米軍人から本件目撃の情報提供を受け、地元関係者に当局から情報提供を行った。
- 本件を受け、同年9月18日、京丹後市長から「当該行為の規模の大小にかかわらず、地元住民に多大な不安を与える行為であり極めて遺憾で、言語道断であり強く抗議する。」旨、近畿中部防衛局長あて文書があり、同年10月1日、京丹後市長へ本件の事実関係及び再発防止等を回答させていただいた。
- 本件は法的に問題となるものではないが、本件を含め地域住民の方々に不安や懸念を与えることがないように、引き続き配慮すること、また、再発防止策として、外部から訓練に参加する軍人も含めた周知徹底を改めて申し入れた。米軍からは、経ヶ岬地域で訓練を行う全ての軍人に対して、本件を含め地域住民の方々に不安や懸念を与えることがないように、引き続き行動には細心の注意を払うよう厳重に周知徹底する旨の回答を受けた。
- 当局としては、米軍経ヶ岬通信所の運用に際して、地域住民の方々の安全・安心を確保することは重要であると考えており、引き続き、訓練の実施に当たっては、米軍及び陸上自衛隊と緊密に連携を図りながら、地域住民の方々に不安や懸念を与えることのないよう適切に対応していく。

(近畿中部防衛局)

#### 【意見要旨】

- 訓練期間中の米軍人による小銃を携帯しての公道歩行については、あってはならないことではあるが、米軍経ヶ岬通信所の米軍人が本件を目撃した直後、速やかに防衛局側に連絡があったことは、米軍側においても事態の重大さを理解していただいているものと認識した。いずれにせよ、今後このようなことが生じないように改めて要請する。

(京丹後市)

- 米軍人が銃を携行したまま国道を歩行したことは、地域住民の不安につながる重大な事案と考えている。くれぐれも同様の事態が起らないよう、これまで以上に地域住民に配慮した対応を改めてお願いします。

(京都府)

#### 【回答要旨】

- 小銃を携行しての国道を移動した件について、当局としては、米軍経ヶ岬通信所の運用に際して、地域住民の方々の安全・安心を確保することは重要であると考えており、引き続き、訓練の実施に当たっては、米軍及び陸上自衛隊と緊密に連携を図りながら、地域住民の方々に不安や懸念を与えることのないよう適切に対応していくので、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

(近畿中部防衛局)

#### (4) 発電機の稼働

##### 【説明要旨】

- ・ 令和7年8月31日から同年10月6日までの間、土日・夜間を含め、米軍経ヶ岬通信所の発電機が稼働し、地元の皆様にご負担を強いた状況にあることについて大変憂慮し、当局から米側に対して累次の要請を行った。
- ・ 米側からは、「地域の方の苦情や要請は十分に理解し、商用電力への早期切り替えに取り組んでいる。」との回答を得たところであり、当局からは、発電機の稼働については必要最小限の使用としていただき、やむをえず稼働させる場合には土日・夜間を避けるよう、米側に申し入れを行った。
- ・ 本件を受け、同年10月1日、京丹後市長から「長期にわたり発電機が連続稼働されていることは、極めて遺憾であり、できるだけ速やかに商用電力に切り替えるよう緊急に強く申し入れる。」旨、近畿中部防衛局長あて緊急申し入れをいただいた。
- ・ 当局としても、土日・夜間の発電機稼働については、できうる限り速やかに地元へ情報提供を行うことが重要と考えており、今後も、米側に対し、速やかな情報提供を求めるとともに、周辺地域の方々の生活に与える影響が最小限となるよう、真摯に対応していく。  
(近畿中部防衛局)

##### 【意見要旨】

- ・ 本年度は「緊急メンテナンス等」による発電機の稼働が多発しており、また、長期間の稼働に及んだものもあり、近隣住民の方に不安を与える状況があった。緊急メンテナンスによる稼働であっても、可能な限り早期かつ具体的な情報提供をお願いするとともに、速やかな商用電力への復帰をお願いする。
- ・ やむを得ず稼働せざるを得ない場合であっても、できるだけ土日・祝日や夜間の稼働を避けるは、以前からの要請と同様である。  
(京丹後市)

- ・ 発電機については、8月から10月にかけて長期間にわたる連続稼働となった。これまでから求めているように、稼働時間を平日の日中に限ることなど、地域住民に与える影響を最小限とする騒音対策の徹底を改めてお願いする。  
(京都府)

##### 【回答要旨】

- ・ 近畿中部防衛局は、米軍に対して、発電機の運用にあたっては可能な限り土日・夜間の稼働は控えるよう求めてきており、米軍からは、
  - 緊急時への備えとして発電機を常に使用可能な状態に保つ必要があり、メンテナンスのため一時的に稼働させる必要があり、定期的なメンテナンスについては、可能な限り、平日の日中に行うことで、土日・夜間の稼働を控えるよう努めている
  - 「停電等が発生し、商用電力の供給が停止された場合」や「緊急の場合」には、土日・夜間であっても、やむを得ず稼働が必要となる場合があることをご理解いただきたいとの説明を受けている。

- ・ 本年8月末から、米軍経ヶ岬通信所の発電機が長期にわたり、土日・夜間を含めて稼働を続け、地元の皆さんにご負担を強いたことにつきまして、大変ご迷惑をおかけした。
- ・ 当局としては、米軍に対して累次にわたり、可能な限り速やかに商用電力に切り替え、発電機を停止していただくよう要請をしてきたところであり、米軍としても、地域からの苦情や要請は十分に理解し、早期切り替えに向けて取り組んでいたと承知している。

(近畿中部防衛局)

#### (5) 日米交流事業等

##### 【説明要旨】

- ・ 令和7年8月13日、米軍経ヶ岬通信所のメンバーは、丹後町で開催された「盆野球」に参加し、小学生から60代まで幅広い年代の地域の皆様と野球を通して交流した。
- ・ 同年10月12日、金刀比羅神社の秋祭り、島津区秋祭り、間人区秋祭りに参加し、地域の方々と一緒に神輿を担ぎ、日本の伝統と文化を経験する貴重な機会となった。
- ・ 同年10月18日、経ヶ岬灯台遊歩道整備プロジェクトに参加し、軍手やスコップを手には、地域の方々と力を合わせて、灯台に通じる遊歩道や階段に堆積した土砂や落石等の除去を行い、共に汗を流した。
- ・ 同年10月22日、宇川学童保育が主催するハロウィン企画に参加しました。子どもたちは、ハロウィンのゲームを楽しんだり、お菓子をもらったりと、米軍経ヶ岬通信所のメンバーと共にアメリカの文化に親しんだ。
- ・ 同年11月1日、丹後王国「食のみやこ」にて、京丹後市国際交流協会、米軍経ヶ岬通信所とともに当局や航空自衛隊経ヶ岬分屯基地が参加して、ハロウィンイベントが開催された。多くの子供たちが来場し、経ヶ岬通信所、当局及び経ヶ岬分屯基地等のハロウィンの飾り付けをした自動車等を見て回って、お菓子をもらったり、ゲームをしたりと、皆が楽しみながら、笑顔のあふれる時間となった。
- ・ 同年11月2日、丹後町袖志の海岸清掃に参加し、航空自衛隊経ヶ岬分屯基地、京丹後市並びに当局有志と共に、打ち上げられたプラスチック容器や漁網などの様々なゴミを拾い、清掃活動と一緒に汗を流した。
- ・ その他様々な地域のイベントや、ボランティア活動に参加した。  
7件(海岸清掃：3件、秋祭り：1件、その他：3件)
- ・ 同年11月22日に京都府丹後文化会館にて予定していた日米交流音楽会は、諸般の事情により米側の参加が困難になったため、開催中止となった。当局は、今後とも、日米交流音楽会をはじめとして、日米交流事業の活動を実施していく。
- ・ 当局は、引き続き、各種交流事業などの企画や支援に努める。

(近畿中部防衛局)

##### 【意見要旨】

- ・ これまでから、米軍関係者の皆さんには、スポーツ交流をはじめ、海岸清掃、秋祭り、英会話教室など、積極的にご参加いただき、市として大変嬉しく思っており、感謝を申し上げます。

- ・ 昨年11月の日米交流音楽会が諸般の事情により中止となったことは大変残念であった。この音楽会は、子どもたちをはじめ大変多くの市民がとても楽しみにしている。来年度は必ず、そして引き続き開催できるように願います。また、1月31日に予定されている日米交流ビーチボールバレー大会は、日米の参加者が混成チームでプレーする大会で、国際交流として大変有意義であると認識している。こうした交流が更に広がることを期待している。

(京丹後市)

- ・ 地域との交流に積極的に参加いただき感謝している。今後とも「良き隣人」となるよう信頼関係の構築をお願いする。

(京都府)

#### 【回答要旨】

- ・ 米軍は、地域の各種行事に積極的に参加するなど地元の皆様との交流を図っており、良き隣人としての努力をしている。
- ・ 当局としても、米軍と地元の皆様とのコミュニケーションが大切であると考えており、より一層、地域との交流が活発なものとなるよう、今後とも創意工夫をしながら、各種交流事業の企画や支援に努めていく。
- ・ 1月31日開催予定の日米交流ビーチボールバレー大会につきましても、ぜひ皆様のご参加をお待ちしている。

(近畿中部防衛局)

#### (6) まちづくりへの支援

##### 【説明要旨】

- ・ 当局は、米軍経ヶ岬通信所の設置・運用に際し、周辺地域の生活環境の整備等のために京都府及び京丹後市が実施する様々な事業に対して助成等を行っている。
- ・ 令和7年度には3事業が実施されている。
- ・ 再編交付金を活用した基金事業として、京丹後市市民総合検診事業ほか2件が実施されている。地元の丹後町はもとより、広く京丹後市民の生活環境の改善等に活用されている。
- ・ 訓練交付金事業は、現在京丹後市において計画中となっている。訓練交付金については、令和6年度に実施された日米共同基地警備訓練において、自衛隊がヘリを使用した訓練を実施したことから、今年度（令和7年度）、京丹後市に対して初めて交付されたものである。
- ・ 道路改修等事業は、浜丹後線ほか3件が実施されており、4件ともこれまでから継続的に実施されてきている事業である。交通安全の確実な確保、交通体系全体の健全化に資するものであり、地域住民の方々の安全・安心をより高めるものと考えている。

(近畿中部防衛局)

## (7) その他

### 【説明要旨】

- ・ 地域の安全安心の確保に向け、住民・市・当局・米軍の連携により、速やかに対処することができた事例があったので紹介する。12月15日、米軍経ヶ岬通信所の国道沿いの東側の土地（いわゆる「三角地」）の境界に設置されていたフェンス下部のパネルが、強風により外れていることを、地域住民の方が見つけ、京丹後市を通じ、当局にご連絡をいただいた。
- ・ 同日、当局は速やかに米軍に連絡し対処を求めたところ、外れかけたパネルの撤去や釘金で固定するなどの処置が迅速に行われ、結果として、大きな事故等に至る前に対処することができた。
- ・ 特に、この地域では冬季に強風が吹くことがあるので、米軍においては、日頃の点検・管理を行っていただくとともに、今回ご連絡をいただいた方々に、この場をお借りしましてお礼申し上げます。

(近畿中部防衛局)

### 【意見要旨】

- ・ 昨年7月に実施された日米共同訓練については、事前の連絡がなく、大変遺憾であった。これについては、その後に、近畿中部防衛局長から直接、その原因及び再発防止の取組の説明を受け、原因となった状況については理解した。以降の訓練においては、しっかりと事前にご連絡いただいているが、改めて事前連絡を徹底されるようお願いする。

(京丹後市)

### 【回答要旨】

- ・ 事前の情報提供なしで実施された日米共同基地警備訓練について、訓練の実施にあたっては、地元の皆様のご理解とご協力を得られるよう、適時適切な情報提供を行うことが重要であると考えており、今後、訓練を実施する場合には、遺漏のないよう適切に対応していく。

(近畿中部防衛局)

### 【意見要旨】

- ・ 三角地で、国道沿いのフェンスの一部が強風にあおられ、国道等に飛散したとの情報に接した。その件は、迅速に飛散しないように適切に対応されたと承知しているが、このようなことは、三角地が早期に整備されていれば発生しなかったもので、飛散による事故防止の観点からも三角地が早期に整備されることを改めて要請する。

(京丹後市)

- ・ 三角地については、引き続き、可能な限り早期に整備が行われるよう、防衛局においても米軍と調整していただきたい。

(京都府)

**【回答要旨】**

- ・ 当局としても、三角地の早期整備の必要性については、クルーズ司令官へご説明するなど、随時米側に働きかけてきた。
- ・ 引き続き、三角地の整備が早期に行われるよう、今後とも米軍と調整していく。

(近畿中部防衛局)

**【意見要旨】**

- ・ 集団居住・集団通勤については、交通事故防止の観点からも、出来る限りの実施をお願いしているところであり、引き続き、米側へ働きかけをするなど、取り組んでいただくようお願いする。

(京丹後市)

**【回答要旨】**

- ・ 集団居住については、地元の賃貸物件に関する情報収集に努め、米軍への情報提供を行うなど、必要な支援を継続するとともに、集団通勤については、勤務シフト等に応じて、ワンボックスカー等の利用による集団通勤の実施に努めていると承知している。
- ・ 近畿中部防衛局交通安全対策推進チームとしては、今後とも、交通事故発生リスク軽減に努めていく。

(近畿中部防衛局)

以上